**2018年度　家族関係学部会　総会**

**（議事録　概要版）**

日　時：2018年10月13日(土) 16時30分～17時30分

場　所：鎌倉女子大学　教室棟2階　講義室2-A

**2018年度　家族関係学部会　総会次第**

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事

＜報告事項＞

1. 平成29年度事業報告および平成29年度収支決算報告の役員会協議の結果（佐藤）

2. 会費納入状況（井上）

3. 入退会の動向と会員区分（山下）

4. ニューズレター発行、HP更新、メルマガ配信の状況について（佐藤）

5. 部会誌の編集について（山根）

6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（佐藤）

7. 2017年度家族関係学セミナーについて（杉井）

8. 2018年度家族関係学セミナーについて（大石）

9. 海外学術交流について（上野）

10. [家庭生活アドバイザー」について（細江）

11.『現代家族を読み解く12章』の刊行について（佐藤）

12. 役員選挙結果の報告（山下）

13. その他

＜協議事項＞

1．入退会者の承認（山下）

2．正会員の年会費見直しについて（佐藤）

3．家族関係学部会規約の改正（佐藤）

4．平成30-32年度　監事の委嘱（佐藤）

5. 『家族関係学』投稿規定の改正（山根）

6．平成31年度事業計画（案）について（佐藤）【資料１】

7．平成31年度収支予算書（案）について（井上）【資料２】

8．その他

冒頭、議長を奥田都子氏に依頼することが全会一致で承認された。

出席者数 ４０名

**【報告事項】**

**１．平成29年度事業報告および平成29年度収支決算報告の役員会協議の結果（佐藤）**

2018年5月26日に開催した役員会において、平成29年度事業報告、平成29年度収支決算について協議し、承認した。

**以上の報告があった。**

**2．会費納入状況（井上）**

　　2018年4月1日～2018年9月26日

　　会費納入必要会員数191名（名誉会員8名を除く）

　　＜会費未納者＞

　　　3年分の未納者3名・・・今年度未納の場合に除籍対象者

　　　2年分の未納者5名

1年分の未納者名58名

2017年度年会費納入状況：納入必要会員194名中170名が納入（納入率87.6％）

2018年度未納者66名（2018年度会費の納付率65.4％　昨年比6.2%増）9／26時点

**以上の報告があった。**

**3．入退会の動向と会員区分（山下）**

　(1)入会希望者　５名

(2)退会者　９名

①退会届提出者：７名

②会費未納による退会該当者：１名

③ご逝去：　１名

(3)会員数

2018年9月26日現在　208名（暫定会員含む）

※入退会承認後（2018年10月13日現在）199名（昨年度比　４名減）

　　　　　→会費納入必要会員数　191名（名誉会員８名）

※住所不明：３名

(4)会員区分

　　【会員区分内訳】（2018年10月13日入退会承認後199名）

一般会員　183名　　学生会員　８名　　名誉会員　８名

　　　　（参考　日本家政学会：会員102名、非会員77名、不明20名）

**以上の報告があった。**

**4．** **ニューズレター発行、HP更新、メルマガ配信の状況（平成29年10月～本日）（佐藤）**

　　 1. ニューズレターの発行　2回

平成30年　2/15（メール配信） 6/27（メール配信）

2. HP更新、メルマガ配信の状況

・ホームページの更新 　15回

平成29年　10/26、12/１、12/20

　　　 平成30年　1/30、2/5、2/20、4/9、4/10、4/18、5/16、6/7、7/9、8/31、9/7、9/14

・メールマガジンの発行 9回（第１～9号）

　　　 平成29年　2/22（147通）、4/5（156通）、5/12（160通）、8/23（170通）、12/20

　　　 平成30年　2/1、4/5（184通）、7/2（185通）、8/27（185通）

**以上の報告があった。**

**5. 部会誌の編集について（山根）**

　 (1) 第37号編集現況について、12月1日に発行予定。

　　　構成：Ⅰ．特集 公開シンポジウム

Ⅱ．論文（２本）

Ⅲ．政策動向（１本）

Ⅳ．報告（１本）

Ⅴ．書評・文献紹介（書評２・文献紹介５）

　 (2) 部会誌印刷費について

(3) 部会誌査読の流れについて

　　今号において、査読過程に一部メールを導入した。

(4) 「その他」原稿縮減について

　　「その他」原稿は「編集規程・投稿規定・執筆要項」「編集後記」のみとした。

(5) J-Stageについて

　2018年5月9日　No.36　J-Stage公開済

　　　公開記事：投稿（論文、研究ノート）特集　依頼原稿　書評・文献紹介

　今期の仕事として、No.35およびNo.37を公開予定（編集委員長担当）

(6) 「査読体制」のホームページ掲載について

　J-Stageのために作成した「査読体制」をホームページに掲載することを役員会で審議し決定した。

**以上の報告があった。**

**６．部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（佐藤）**

　 ・部会誌販売の状況（2017.6.21～2018.9.19）

No.27（１冊）、No.33（２冊）、No.34（１冊）、No.35（２冊）　合計６冊

・部会誌の保管状況　合計154冊（9月19日現在）

|  |  |
| --- | --- |
| １～29号 | 48 |
| 30号 | 19 |
| 31号 | 8 |
| 32号 | 9 |
| 33号 | 7 |
| 34号 | 18 |
| 35号 | 24 |
| 36号（最新号） | 21 |

・部会誌No.1～No.29：各号１～２冊保管、電子データなし、J-Stage公開の見込みなし。

・平成30年度第1回役員会（2018年5月26日）において、部会誌1～29号の48冊はすべて保管が決定している。30号以降はJ-Stageに登載された時点で5冊（部会保存を含む）を残して保管管理していくこと（2017年度総会で承認）が確認された。

・部会誌バックナンバー保管費用（購入希望者郵送作業費を含む）：

月額2,160円（税込）よしみ工産

**以上の報告があった。**

**7．2017年度（第37回）家族関係学セミナーについて（杉井）**

　(1) 日程：2017年10月21日（土） ～ 10月22日（日）

会場：ホテルビナリオ嵯峨嵐山（社会福祉法人全国手話研修センター「コミュニティ嵯峨野」)

(2) 公開シンポジウム

「家族／家庭のリアリティーを多角的に考える―生活者としての女・男・子どもの生きざまを問い直す―」

　　　報告1　 沢山　美果子氏（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

「『いのち』とジェンダーの視点からみた女・男・子ども―近世から近代へ」

報告2　 天木　志保美氏（元・同志社大学文学部）

「後期近代と家族」

報告3　 宮坂　靖子氏（金城学院大学生活環境学部）

「家族の近代化・脱近代化と子育て―ケアネットワークと情緒規範からのアプローチ」

1. 活動助成

　平成29年度日本家政学会第2期活動助成金　　97,959円

使途：シンポジウム講師謝礼（非会員2名および学会員1名）及び会場費

　　(4)自由報告　２分科会　合計13報告（プログラム記載14報告であるが、１報告取り下げ）

**以上の報告があった。**

**8．2018年度（第38回）家族関係学セミナーについて（大石）**

　(1) 2018年10月13日（土）～10月14日（日） 会場：鎌倉女子大学

(2) 公開シンポジウム

「地域社会における多世代共生の可能性 －家族と住まいに焦点を当てて－」

報告1　松本 暢子氏 (大妻女子大学社会情報学部教授)

「家族の変容と住まい ―少子高齢化による住宅需要の変化とまちづくり―」

報告2　六角 薫氏 (NPO 法人セカンドリーグ神奈川事務局次長)

「多世代共生のまちづくりの実践事例 ―成果と課題―」

報告3　小澤 千穂子氏 (大妻女子大学家政学部教授)

「家族を超える『支え合い社会』のデザイン

―コミュニティにおける居場所づくりから始まるつながりの再構築―」

（3）平成30年度日本家政学会第2期活動助成金の取得について（大石）

使途：「公開シンポジウム」の講師謝金、会場費、印刷費に使用とし、以下の通り、

6月21日に申請し、9月29日付理事会で承諾を得られた。

　　　　　　　講師謝金（学会員2名）　22,274円（11,137円×2名）

講師謝金（非会員1名）　33,411円

会場費　　　　　　　　 20,000円

印刷費　　　　　　　　 24,315円

合計（円）　　　　　　100,000円

**以上の報告があった。**

**9. 海外学術交流について（上野）**

・平成30年度第1回役員会（2018年5月26日）において、「日韓学術交流」の名称を「海外学術交流」とし、これまでの日韓学術交流に加えて、CIFA(Consortium of Institutes on Families in the Asian Region)等の学術交流の窓口および部会員への広報を業務に入れることを決定した。

・日韓学術交流について

　2019年度に韓国家族関係学会（KAFR）から招聘する予定であったが、2020年度の第40回家族関係学セミナーに合わせて招聘することを2019年KAFR会長予定のDr.Yoo,Gyesook に依頼し、了承を得た。

**以上の報告があった。**

**10．「家庭生活アドバイザー」について（細江）**

2018年度の家庭生活アドバイザー認定資格研修（修了者には修了証が授与される）が、9月1日・2日と9月8日・9日（9月1日・ 9日の受講も可能）に、お茶の水女子大学本館会場で実施され、計15名の家政学会会員が受講した。その後9月15日に東京会場、中国地区会場、九州会場の3つの会場で、家庭生活アドバイザーの資格認定試験が実施され、研修受講者15名全員が資格認定試験を受験した。合格判定は、10月末に実施される予定である。

昨年度は本報告で示した通り、家庭生活アドバイザー18人の学会資格の認定が理事会（4月14日）において承認され、一般社団法人日本家政学会認定資格「家庭生活アドバイザー」第1期生が誕生し、学会から、家庭生活アドバイザーの認定証、認定資格証、バッジが与えられている。

**以上の報告があった。**

**11. 『現代家族を読み解く12章』の刊行について（佐藤）**

・『現代家族を読み解く12章』　10月25日刊行予定　2,400円（税別）

・販売協力のお願い

読者対象：家族に関わる研究者、家政学に関わる研究者、中・高の家庭科教員、家族を学ぶ

学生（教科書）、行政の施策立案者や生活支援職に従事する人、一般市民

・部会の買取り：部会として200冊（本日時点で2017年度年会費納入済みの部会員と2018年度

新入会員の190名、非会員の執筆者７名、部会保管分３冊）を買取り郵送する。

・買取り経費および郵送料は、部会の定額貯金から支出する（2017年度総会で承認）。

**以上の報告があった。**

**12．役員選挙結果の報告　（山下選挙管理委員長）**

・次期の役員改選選挙の投票が2018年6月18日～7月6日に行われた。

選挙管理委員（永田晴子先生　小野瀬裕子先生）による開票作業の結果、新役員が選出された。

・投票総数 51名×５☓１地区＝255票☓２地区＝510票

・選出者　第1区　井上清美　大石美佳　平野順子　藤崎宏子　永田晴子

　　　　　第2区　李　璟媛　菊地真理　杉井潤子　冬木春子　宮坂靖子　　　　（敬称略）

・部会長選挙の投票が2018年7月17日～27日に行われ、宮坂靖子先生が選出された。

**以上の報告があった。**

**13．その他**

**特になかった。**

**【協議事項】**

**1．入退会者の承認（山下）**

**報告事項3の入退会者（審議対象者）について承認された。**

**2．正会員の年会費見直しについて（佐藤）**

平成31年度より、正会員の年会費を1000円値上げして5000円にする。

学生会員は2,000円に据え置く。

＜年会費見直しの理由＞

・会員規模200人を維持し、正会員の年会費を4,000円のまま、現在と同じやり方（Ａ案）を続けると、毎年の赤字が約6万円ずつ累積していくことになる。

・これまで庶務担当者が管理・更新してきた「会員情報ファイル」と会計担当者が管理・更新してきた「会費納入情報ファイル」を統合して「会員管理データ」を作成し、会員データの一元化作業を行う。作業委託経費として87,480円が必要。　→平成30年度会計より支出する。

・業者への委託業務を下記１件追加する。

年1回5月末の「年会費請求」と「セミナー案内」の封入・封緘・発送作業 　\21,800

・Ａ案、Ｂ案①②、Ｃ案①②のうち、役員会で審議した結果、現時点では、正会員の年会費を5,000円、学生会員は2,000円で据え置く「Ｂ案②」に変更することを提案する。

**以上の変更案が承認された。**

**3．家族関係学部会規約の改正（佐藤）**

(1)正会員の年会費変更に伴い下記の通り改正する。　※下線部分を改正

第3条　会員及び会費

現行：2　会員の会費の年額は、正会員4,000円、学生会員2,000円とし、本会会計年度当初に納めることとする。ただし、２年分を前納することができる。

改正案：2　会員の会費の年額は、正会員5,000円、学生会員2,000円とし、本会会計年度当初に納めることとする。ただし、２年分を前納することができる。

(2)委員の人数を下記の通り改正する。　※下線部分を改正

第4条　役員とその任務

現行：(2)委員14名以内。委員会を構成し、重要な会務の審議及び執行にあたる。

改正案：(2)委員14名以内。ただし部会長が必要と認めたときは若干名を増員することができる。委員会を構成し、重要な会務の審議及び執行にあたる。

＜改正理由＞

・当該時期の状況に合わせられるよう、委員の人数に裁量の余地を持たせる。

**以上の変更案が承認された。**

**4．平成30－32年度　監事の委嘱（佐藤）**

　　部会規約　第4条4：部会長、委員、監事の任期は２年とする。ただし、再任は妨げないが、その場合は、引き続き4年を超えないものとする。

　　役員選出規程　第7条　監事は総会の議をもって委嘱される。

1区　長津美代子先生　　２区　水島かな江先生

**上記、監事の委嘱について承認された。**

**5．「家族関係学」投稿規定の改正（山根）**

**送付する原稿数を４部から２部に変更する案が承認された。**

**6．平成31年度事業計画（案）について（佐藤）【資料１】**

**資料１のとおり承認された。**

**7．平成31年度収支予算書（案）について（井上）【資料２】**

**資料２のとおり承認された。**

**8. その他**

**特になし。**

**【資料１】**

**平成31年度事業計画（案）**

1. 研究発表会、公開講演会等の開催

(1) 公開シンポジウム

日程：2019年10月12日(土)　　会場：神戸大学

テーマ：未定　　　　　　　シンポジスト：未定

(2) 研究発表会

日程：2019年10月13日(日)　　会場：神戸大学

２． 部会誌の刊行

「家族関係学」№38 2019年12月1日刊行予定

1. 部会誌のJ-STAGE公開

「家族関係学」No.38、バックナンバーの電子ジャーナル化

４． 研究及び調査の実施

　　 　実施せず

５．研究の奨励及び研究業績の表彰

実施せず

６．その他、目的を達成するために必要な事業

(1) ニューズレターの発行　2回

(2) ホームページの管理・更新、メルマガの配信

７．部会総会等の開催

(1) 平成31年度通常総会

平成31年度家族関係学セミナーのなかで開催する。

(2) 部会役員会、各種役員会等

　 ・ 役員会の開催（年２回）

・ 第39回家族関係学セミナー実行委員会（４回）

　 ・ 部会誌編集委員会10回（メール会議）

　　　　・その他

８．その他

